

付き添い家族の滞在支援

【札幌】患者支援のための滞在施設を運営するNPO法人北海道ファミリーハウス(札幌市)は、札幌市中央区に小児患者の付き添い家族専用の宿泊施設「しろくまハウス」を提供している。

しろくまハウスは2019年7月から同法人が直営を開始。札幌医科大学附属病院から徒歩10分のワンルームマンションで、同建物内に2部屋を完備している。5泊以上から利用ができ、長期滞在が可能。安価で安心して宿泊できると道外からリピートする利用者も多いという。

同法人は昨年9月、しろくまハウスと同じマンション内に事務所を移転。以前

NPO法人が札幌に宿泊施設

より家族とのコミュニケーションが取りやすくなり、精神的な支えに一役買っている。

札幌市内の滞在支援施設はほかに手稲区、東区に計4施設あり、それぞれのオーナーが運営。大人・患者でも宿泊ができ、釧路や旭川にも滞在支援施設がある。

同法人は「長期滞在中でも料理ができて日常生活に近い形で宿泊していただける。気軽に相談してほしい」と話している。

しろくまハウスの利用料金は1人1泊1500円。申し込み、問い合わせは同法人(011・699・6600)へ。

(木村京子)